

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課	担当課長名	西村 俊二
(※)第1期実施計画の事業名	汚水整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3071 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目1汚水整備の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計(公共下水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	汚水普及率の向上
事業の対象(誰を、何を)	汚水の未整備地区
事業の手段・方法(どのように)	汚水管の整備を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		95,422	57,294	71,450	116,000	124.7%
主な内訳	工事請負費	95,422	43,644	47,690	11,000	109.3%
	委託料	0	13,650	23,760	105,000	174.1%
	補償費	0	0	0	0	-
人件費(人・千円)		0.83 6,474	0.79 6,162	0.67 5,226	0.66 5,016	84.8%
内訳	正職員	0.83 6,474	0.79 6,162	0.67 5,226	0.66 5,016	84.8%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト		0	0	0	0	-
支 出 合 計 A		101,896	63,456	76,676	121,016	120.8%
財 源	国・府支出金	41,500	25,090	33,000	50,000	131.5%
	地方債	48,820	25,000	22,900	18,000	91.6%
	その他財源	183	771	1,172	136	152.0%
	うち受益者負担 B	183	771	1,172	136	152.0%
	一般財源 C	11,393	12,595	19,604	52,880	155.6%
一般財源比率 C÷A		11.2%	19.8%	25.6%	43.7%	128.8%
受益者負担率 B÷A		0.2%	1.2%	1.5%	0.1%	125.8%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		整備完了のため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	普及率	%	99.9	99.9	100.0	-	98.2
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	未整備地区の整備(小谷)	ha	0.00	1.65	3.83	-	3.83
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		普及率が100%に達したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	伏尾町小谷住宅地区の下水道整備について、平成26年度完成を目指し順次整備を行ってきた結果、目標値である普及率が100%に達したため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	汚水整備事業については目標に達したが、今後、施設の老朽化及び耐震化の対策を行っていく。
現在抱える課題とその対策	課 題 社会資本整備総合交付金の取得について、要望額に対する内示額が近年減少傾向。 対 策 事業の重点化を図るとともに、要望活動を実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成26年度に普及率100%を達成した。今後は、老朽管の更新と耐震化を汚水整備事業として継続していく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課	担当課長名	西村 俊二
(※)第1期実施計画の事業名	雨水整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3072 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目2雨水整備の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計(公共下水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	浸水被害の軽減及び分流化の推進
事業の対象(誰を、何を)	過去の浸水区域及び災害区域
事業の手段・方法(どのように)	雨水管の整備を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	244,164	173,839	156,491	286,950	90.0%	
主な内訳	工事請負費	171,334	143,714	122,181	257,000	85.0%
	委託料	12,688	292	8,100	2,500	2774.0%
	補償費	60,142	29,833	26,210	27,450	87.9%
人件費(人・千円)	2.42 18,876	2.26 17,628	2.48 19,344	2.44 18,544	109.7%	
内訳	正職員	2.42 18,876	2.26 17,628	2.48 19,344	2.44 18,544	109.7%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A	263,040	191,467	175,835	305,494	91.8%	
財源	国・府支出金	87,950	68,010	54,200	124,000	79.7%
	地方債	130,480	89,700	100,600	159,400	112.2%
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	44,610	33,757	21,035	22,094	62.3%	
一般財源比率 C÷A	17.0%	17.6%	12.0%	7.2%	67.9%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	雨水整備により浸水区域の解消率	%	27.8	27.9	28.3	28.9	28.3
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	全体計画雨水管延長206.6km	km	56.5	57.7	58.4	59.7	58.5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		目標の整備率に達したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	浸水箇所の解消を図るため、雨水管渠整備を実施し、整備率が目標値に達している。効率性については、今後実施する浸水シミュレーションを解析し、より効率的な浸水箇所の解消を図る必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	浸水箇所の解消を図るため、今後も継続的に整備を行う必要がある。	
現在抱える課題とその対策	課題	社会資本整備総合交付金の取得について、要望額に対する内示額が近年減少傾向。
	対策	さらなる事業の重点化を図るとともに、要望活動を継続して実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果指標は順調に推移している。浸水被害を軽減するため、国の交付金を最大限に活用し、今後も事業を継続していく。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水処理場	担当課長名	吉村 寛
(※)第1期実施計画の事業名	下水処理場施設整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3073 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目3下水処理機能の充実と資源の有効利用	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計(公共下水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	下水処理場施設の更新により、円滑な下水処理機能を維持する。(昭和43年度供用開始)
事業の対象(誰を、何を)	下水処理場施設
事業の手段・方法(どのように)	更新計画に従い機能更新事業を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和38年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	下水道法第3条

2 事業費等

区 分		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25
事業費(千円)		495,099	773,594	1,020,589	173,931	131.9%
主な内訳	工事請負費	482,142	759,686	1,002,359	138,000	131.9%
	委託料	12,075	13,230	17,820	35,000	134.7%
人件費(人・千円)		2.44 19,032	2.15 16,770	2.40 18,720	2.02 15,352	111.6%
内訳	正職員	2.44 19,032	2.15 16,770	2.40 18,720	2.02 15,352	111.6%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト		0	0	0	0	-
支出合計 A		514,131	790,364	1,039,309	189,283	131.5%
財源	国・府支出金	257,700	417,100	553,600	85,500	132.7%
	地方債	236,200	85,600	282,900	79,000	330.5%
	その他財源		270,000	59,375		22.0%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	20,231	17,664	143,434	24,783	812.0%
一般財源比率 C÷A		3.9%	2.2%	13.8%	13.1%	617.5%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	下水処理施設の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	施設機能更新、整備については、国の交付金制度、長寿命化支援制度等を活用しており、池田市職員が直接、大阪府に申請等の調整を行うため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	計画的な機能更新の実施率	%	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	二系高度処理施設整備率	%	100	-	-	-	100
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		当初の予定通り、汚泥処理施設と二系最初沈殿池No.2号池の更新工事の完成、又処理能力向上のため、放流ポンプNo.6号機の増設工事が完了したことによる。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	処理場施設の機能更新、整備事業については、国からの交付金を最大限に活用しているため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	経費削減、事業費の平準化を盛り込んだ長期的な更新計画の実施中であるため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	処理場施設の老朽化が著しく、処理機能を維持する為、機能更新に多額の費用がかかる。
	対 策	今後も、国の交付金制度、長寿命化支援制度等を活用し経費の節減に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果指標は順調に推移している。下水処理機能の充実に向け、国の交付金を最大限に活用し、今後も事業を継続していく。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越 英樹
(※)第1期実施計画の事業名	下水道事業会計健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3074	1	財務会計上の短縮番号
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目4事業の持続性の確保	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計(公共下水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	財政の健全化を図る
事業の対象(誰を、何を)	公共下水道事業
事業の手段・方法(どのように)	国費や基金などの有効活用、経費の削減など効率的な経営に努める
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		-		-		-		-		-
主 な 内 訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	0.20	1,520	57.1%
内 訳	正職員	0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	0.20	1,520	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		780		2,730		1,560		1,520		57.1%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	780	2,730	1,560	1,520	57.1%				
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、民間委託範囲の拡大についての検討は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指 標 値	実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		赤字額(当年度純損失)	千円	▲ 126,595	▲ 106,117	64,608	▲ 32,000	0	
					<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果					
					<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果					
					<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果					
					<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果					
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない								
選択の理由		平成26年度の目標値である赤字が解消されたため。								
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)								
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)								
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	経営健全化計画を策定し、起債の抑制、人員の削減を図り、平成26年1月には下水道使用料を改定したため黒字決算となり順調に推移している。								

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	下水道使用料の改定 平均改定率 20.5%
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	引き続き業務の効率化に努める。
現在抱える課題とその対策	課 題 水需要の減少による汚水処理水量の減少。 対 策 アセットマネジメントの導入による効率的かつ計画的な経営。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	成果指標は順調に推移しているが、有収水量の減少等厳しい経営状況の中、財政基盤の強化に向け、今後も効率的な事業を継続していく。